

# 会 議 録

作成日 令和3年7月22日

日 時	令和3年7月14日(水) 13:30 ~ 14:30	場 所	特別養護老人ホームすこやか苑 多目的ホール
会議名	令和3年度 第2回 運営推進会議		
出席者	家族代表・民生児童委員・地域包括支援センター職員 入居者代表(リモートで部分参加) 施設長・生活支援課長(生活相談員)・副主任支援員(介護支援専門員)		
<p>1 開 会</p> <p>※ 初見の委員がいたこともあり、簡単な自己紹介を実施。</p> <p>2 挨 拶 施設長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各委員ご多忙の中、本委員会に参加いただいたお礼、及び、当苑におけるコロナワクチン接種状況について報告をした。当苑では、ワクチンの副反応は主に職員に出たこと、引き続きコロナウイルス感染対策に努めていくとあり。</li> </ul> <p>3 議 事</p> <p>(1) 令和2年度特別養護老人ホームすこやか苑事業報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援課長(生活相談員)から資料に沿って説明をした。昨年度、苦情相談日における第三者委員による面会は実現できなかったが、今年度は、毎月リモートによる面会を継続していると追加説明。</li> </ul> <p>(2) すこやか苑の運営状況について</p> <p>※ 別添資料「令和3年度 第2回 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議資料」参照</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>副主任支援員(介護支援専門員)から、資料に沿って説明した。</li> </ul> <p>4 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>24時間シートとは何かと質問あり。 →アセスメントの一環で、その人の生活を24時間の時間軸に合わせて、何がしたいか、何ができるか、何のサポートが必要かなどを追った表。自宅での生活をできるだけ施設でも継続できるように本人の生活習慣の把握やどこにどれくらいの介護が必要かを把握する方法。個別ケアを実践するためのツールと説明した。</li> <li>入居者の認知症の割合はどれくらいか。 →正確に把握していない。認知症は、脳の気質的な変化を伴う記憶障害であるため、</li> </ul>			

正式には脳の検査（CT・MRI など）を受け診断される。認知症疑いの方は 8 割程度。機能訓練指導員が定期的に長谷川式スケール（認知症スケール）で検査している。

- ・ ノーリフト推進委員会とあるが、機械などを取り入れたりしているのか。  
→例えば移乗用ロボットは、かなり高価で簡単には入手できない。現在は、そういった機器の体験試用や職場環境の改善、腰痛調査、移乗の仕方の見直し、移乗ボード使用などを行っている。将来的に持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケアを目指している。
- ・ 研修会が充実していて素晴らしい。  
→研修会は年間計画に沿って実施している。目下の課題は、参加率が低いこと。最近では各会 10 名程度の参加。できれば 15 名程度の参加があれば良い。シフト制もあり、休日に時間外で参加する場合もあるため、参加することが難しいことも理解している。
- ・ ビニールシートを挟んでの面会で良いので、リモートでない面会は再開できないか。  
→秋ごろにはコロナワクチン接種が広がると想定している。今後、例えば窓越しで面会できないか検討している。

## 5 その他

- ・ 各委員から入居者代表とリモート面会してもらおう。入居者代表からは、不便なく生活できている等の発言あり。
- ・ 次回予定日（令和 3 年 9 月 8 日（水）13：30～）を確認。開催予定日が近くなったら、再度各委員に連絡を取り、必要があれば日程調整をする旨伝える。

## 6 閉会

令和3年度 第2回 特別養護老人ホームすこやか苑 運営推進会議資料

○入所状況

■入 所	定員29人	
■平均入居者数	5月(29.0名) ※入所0名 退所0名 入院1名 退院0名	6月(28.5名) ※入所0名 退所1名 入院0名 退院1名
■平均介護度	5月(4.1)	6月(4.1)
■平均年齢	5月(88.5歳)	6月(88.6歳)
■入所申込状況	5月(4件)	6月(4件)
	※総待機者数 25名(7/14付け)	

■短期入所	定員10人	
■平均利用者数	5月(9.0名)	6月(9.4名)
■平均介護度	5月(3.0)	6月(3.0)
■平均年齢	5月(85.7歳)	6月(85.8歳)

○事故報告について

※ 毎月リスクマネジメント委員会にて対策検討

■令和3年

区 分/月	5月	6月
ヒヤリハット	3	0
アクシデント	8	8
事故(Lv3以上)	1	1

■事例(事故Lv3以上:通院を伴った事故ほか市役所へ事故報告したもの)

区 分	発生日	内容・対応
誤薬	5月17日	短期入所において、服薬中止となった薬を除去し忘れ、服用させてしまった。  再発防止のための対策 ① 内服薬の変更時は、一包化されたものは、薬局へ依頼し、分包化を依頼する。

		<p>② 分包化が出来ない時は、配薬後の薬の確認に意識が行くように、チェック表や配薬ケースに注意を記す。</p> <p>③ 薬変更時は薬情報をユニット内に完備し、情報共有する。</p>
転落	6月16日	<p>起床介助し、着替えを終え、車椅子へ移乗後退室。本人が居室から出てこないため、訪室すると車椅子から前方へ転落し、前額部腫脹あり。トイレでのドアがわずかに開いていたため、トイレに行こうとして手を伸ばしそのまま前方へ転落した模様。救急外来受診し、CT等は異常なし。</p> <p>再発防止のための対策</p> <p>① こまめな声かけや居室確認。</p> <p>② 起床介助は他入居者と時間が重なるため、落ち着いた時間帯に介助できるように時間帯の見直し。</p> <p>③ 本入居者においては、徐々にADL低下や車椅子乗車姿勢が保持できなくなってきているため、離床時は見守り下で過ごしてもらう。</p>

○身体拘束廃止への取り組みについて

※5～6月時点で身体拘束にあたる案件なし

○職員研修等

- ・5/12 感染症対策研修－新型コロナウイルス感染対策について－ 9名参加
- ・6/28 虐待防止・身体拘束廃止研修－認知症の理解について－ 14名参加

※上記ほか、法人内研修、外部研修に各職員参加

○その他

- ・入居者コロナワクチン接種は6/3に2回目接種、職員は7/9に接種済み
- ・在宅復帰を目指し6/17で1名退所、短期入所を利用後7/5に五所川原の自宅へ戻られた方あり
- ・リモート面会は、累計5月24回、6月22回（概ね月1入居者につき2回まで）実施

○主な行事等実施状況

5/17 (月)・18 (火)・6/21 (月)・22 (火) ドライブ外出①②     5/26 (水) 防災訓練  
6/2 (水) すこやかカフェ     6/9 (水) 創作クラブ